

=====
ふくしま

2017. 8. 3

復興支援フォーラムニュース No. 116

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)
=====

<第114回 ふくしま復興支援フォーラム> (2017.08.03)

なぜ不安は消えないのか ～脳神経科学から見た福島原発事故～

脳神経科学者 伊藤浩志

◆ 健康不安の現状と今後の予測

変らない被災の時間
原発事故後の健康不安

◆ 「不安」とは何か

脳神経科学的に「情動」とは何か (不安も情動の一種)
情動反応は意思決定の羅針盤
不安とは何か?
扁桃体の働き

◆ 社会的動物としての不安

2種類ある不安
社会的動物としての不安
ヒトにとって特に重要な社会的動物としての不安
世界528都市における労働年齢男性の所得格差と死亡率
主要な健康問題は、昔も今も心理的、社会的、経済的問題 (医学的な問題ではない)
なぜ「不安」で、心臓病やがんの死亡率が上がるのか
ポイントは交感神経系とHPA軸のストレス反応
ストレスが長く続くと…
ストレスで心と身体、両方の病気になるメカニズム
身体の病は社会の病、社会の病は身体の病
健康被害を過小評価している現在のリスク論

◆ 自然科学的リスク論の限界

被災者の不安が過度に見える理由
原発事故と医療被ばくは比較可能か
質が異なり比較できない例（セシウムに汚染されたキノコと毒キノコ…）
上乘せされる社会の病
安全安心二元論（現在のリスク論）の限界

◆ 見逃されてきた社会の病

医療崩壊
震災関連死の推移（原発事故関連死含む）
生活習慣病の増加
震災が関連した自殺者の推移（原発事故関連含む）
なぜ福島県では自殺者が減らないのか
不十分で不公正な救済策
子ども/子孫への健康影響

- ・有意差なし（健康リスクの明らかな増加の証明は困難）≠健康影響なし
- ・ドーハッド説（生活習慣病胎児期発症起源説）って何？
- ・原因はエピジェネティクス
- ・科学と価値の問題の混同
- ・安全とは何か
- ・小さな子どもを持つ母親の不安は「過剰」なのか
- ・母親の不安には生物学的な根拠があった
- ・どんな社会なら居心地がいいと思えるか

ふるさと喪失

- ・里山除染を求める必然性
- ・マイナーサブシステム（遊び仕事）って何？
- ・ふるさと喪失とは
- ・どんな社会なら居心地がいいと思えるか
- ・復興のカギを握るのは経済力ではなく地域力

◆ なぜ被災者の不安は消えないのか

たとえ放射線量が低下したとしても、事故責任が曖昧にされたままで、不十分で不公正な救済策が改善されない限り、事故前より生存率が低下した状態が続くから、生命の警報装置は鳴り続ける（不安は消えない）

~~~~~

### <第113回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等>

7月6日、福島市A O Zで、第113回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。

今回は、佐々木健洋氏（福島県農民連）から、「農村における再生可能エネルギーの可能性と市民・地域フォーラムの意義」と題して、報告を受けました。

17名の参加者による熱心な質疑応答がなされましたが、会場で文書として提出されたご意見・感想などは、以下の通りです。参考にしてください。

~~~~~

★ 原発のエネルギーに変わって、再生可能エネルギーが、日本の主要エネルギーになるには、（ドイツのように国のトップの号令が期待できないので）市民の草の根活動しかないのかと思います。少し残念で、もどかしい気持ちです。それでも行動をしなければ。（H.S）

★ 現在、再生可能エネルギー事業に関わっているが、今回の佐々木氏の「農家・市民レベルで省エネを含めて再生可能エネルギーを地産地消していることは素晴らしく」大いに興味を持った。今後の拡大・発展に期待したい。（R.N）

★ 県内の取り組みだけではなく、調査された海外の事例も知る事ができ、大変勉強になりました。大きな目標に向かって取り組むには、官民両方の理解も重要だという事をあらためて感じました。（Y.M）

★ 実際に取り組まれているリフォーム、電力会社を変えた話など伺えて大変勉強になりました。ありがとうございました。佐々木先生のお話を伺い、頼もしく思いました。農家がエネルギーを供給するという、社会を福島が、佐々木先生がリードされる、そんな未来が現実的になりつつあるのかなと希望が持てました。（Y.E）

★ (1) #113フォーラム開催有り難うございます。「福島東北の復興なくして日本の再生無し」の実現は、発表された再生エネルギーへの完全転換と農業の活性化（75%自給率）にあると確信が持てました。(2) 全国フォーラムで再生エネルギー化長期ビジョン（ex. 2050年120%転換、20%輸出）を、行政に向けて発信して欲しい。（現行 自主・市民出資発電+電力会社公社化）。(3) ドイツ2020年脱原発→日本2030年を実現する為にはどうしたら良いのでしょうか。再生エネルギー化を進める上で「自然とのバランス調和」（環境との調和）。（T.S）

★ 再生可能エネルギー活用の重要性を再認識いたしました。（K.F）

★ 水利権を電力会社が、戦前の法律により所有しているとは驚きです。水利権は、地元、自治体で持つべきと思います。（M.T）

◆◆◆◆【会場個人カンパありがとうございました】◆◆◆◆

第113回ふくしま復興支援フォーラム（7月6日）の会場で、カンパ3500円をお寄せいただき、ありがとうございました。ご報告とともに、御礼申し上げます。（今野）

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

【会計報告】（2017.7.6現在）

「収入」

2017.6.16まで累計	55,856円（第2期（2016.10.27～）繰越 7,106円）
会場カンパ(2017.7.6)	3,500円
計	59,356円

「支出」

2017.6.16（会場費114まで）累計	37,820円
計	37,820円

「残金（現在高）」2017.6.16 21,536円

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

【予告】

第115回 「ふくしま復興支援フォーラム」

日時 2017年9月1日（金） 18時30分～20時30分

テーマ 「福島から変革者を育てる ～ ふたば未来学園の挑戦」

報告者 丹野 純一 氏（福島県立ふたば未来学園高等学校 校長）

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」
視聴覚室 MAXふくしま4F（福島市曾根田町1-18）
*入場無料、予約不要